

①エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進

			福岡市交付対象事業経費		
目的	国内外の優秀なエンジニアが集まる環境を創出し、エンジニアによって生み出される新サービス等を通じて経済成長や市民生活の向上を図る。		2年度	67,055 千円	
			3年度	81,801 千円	
実施主体	福岡市	担当	経済観光文化局創業・立地推進部 新産業振興課	事業期間	R1n-R3n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】				
	<p>1 エンジニアが集まる場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> エンジニアの交流拠点「エンジニアカフェ」の運営。 イベントとしても利用できるコワーキングスペースのほか、作業に没頭できる集中スペースやデジタルものづくりの体験ができるスペースを備える。 オンライン・エンジニアカフェをR2.5.20に開設。 コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により、エンジニアカフェが閉館となった中でも、オンラインで相談や、コミュニケーションが行える場を提供した。 コミュニティマネージャーが中心となり、エンジニアやこれからエンジニアを目指す方、エンジニアに関わる方からの相談に対応。 エンジニアやエンジニアコミュニティが主催する勉強会やイベントの開催支援。 エンジニアカフェ主催による、言語系からものづくり系の勉強会や交流会などを開催。 <p>2 エンジニア向けイベントの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡のエンジニアを取り巻く環境の充実や、エンジニアコミュニティ文化の発展に貢献する取組み等を行う者を表彰する「エンジニアフレンドリーシティ福岡アワード」を創設し実施した。 福岡のエンジニアと九州内外のエンジニアコミュニティとの交流、エンジニアに対する企業の先進的な取組みを紹介し、エンジニアが働きやすい環境を福岡に広げていくこと、また最新の技術トピックに触れることでエンジニアの技術力向上を目的としたイベント「エンジニアフレンドリーシティ福岡フェスティバル」をオンラインにて開催した。 各エンジニアコミュニティの活動やイベントの紹介、福岡で活躍するエンジニアのインタビューやエンジニアやエンジニアコミュニティ活動を支える企業や団体等の紹介等を専用WebサイトやSNS等による情報発信を実施した。 				
	指標内容		R2n目標	R2n実績	達成率
KPI	福岡市におけるソフトウェア業及びインターネット付随サービス業の従業者数（人）		27,727	—	—
KPI	福岡地域の情報処理技術者の有効求人倍率（倍）		2.50	1.45	172.4%
KPI	エンジニアからの相談対応件数（件）		120	253	210.8%
KPI	赤煉瓦文化館の入館者数（人）		41,621	39,559	95.0%
補足	「福岡市におけるソフトウェア業及びインターネット付随サービス業の従業者数」は、経済センサスの結果公表待ち。				

②Society5.0を支えるAIエンジニア支援

			福岡市交付対象事業経費		
目的	IT企業等のエンジニアを対象にAI等の研修及び実践訓練を実施することで、Society5.0実現のための重要な役割を担うAIエンジニアの育成を支援し、企業等におけるデジタル変革や働き方改革をより一層推進する。		2年度	5,673千円	
			3年度	5,673千円	
実施主体	福岡市	担当	経済観光文化局創業・立地推進部 新産業振興課	事業期間	R2n-R4n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】				
	<p>1 キックオフ・イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> AIの第一線で活躍する研究者等による最新のAI・DX技術や応用、人材育成等についての講演をオンラインにて配信。 無料開催とすることで参加者を広く募り、AIへの取組み機運情勢を図るとともに、その後の人材育成研修の受講へつなげる。 <p>(開催実績)</p> <p>日 時：令和2年10月13日（火）16：00～18：45</p> <p>講演内容：①「DXの要諦はヒト・組織・プロセスの変革！ヒト＝AI・DX人材をどう育成するか？」 ②「AIについて経営者が知っておきたいこと」 ③「AI・ディープラーニング最前線」 ④「ふくおかAI・DXスクールで開催する研修紹介」</p> <p>参加者数：214人</p>				
	<p>2 AI開発者向け研修</p> <ul style="list-style-type: none"> AIを使った製品やサービスの開発に取組みたいと考えている技術者向けのオンライン研修を実施。 データの準備や機械学習の実装方法、有名な深層学習のモデルなどハンズオンを交えながらAI開発に必要な知識を身につけることが目的。 <p>(開催実績)</p> <p>第1期：令和2年11月26日（木）、27日（金）、12月3日（木）、4日（金）⇒22人が修了 第2期：令和3年1月14日（木）、15日（金）、1月21日（木）、22日（金）⇒40人が修了</p>				
	<p>3 AI開発者向け応用研修</p> <ul style="list-style-type: none"> AIを活用して社会や企業の持つ課題を解決するため、実際のAIサービス構築の実務に必要なスキルを習得するオンライン研修を実施。 5人1組のグループにて、ビジネス目的を整理し、その上で必要なAIの精度、適切な手法を検討し、最終的なモデルを開発することが目的。 <p>(開催実績)</p> <p>第1期：令和2年12月9日（水）、16日（水）、令和3年1月6日（水）、13日（水）⇒9人が修了 第2期：令和3年1月20日（水）、27日（水）、2月3日（水）、10日（水）⇒16人が修了</p>				
	指標内容	R2n目標	R2n実績	達成率	
KPI	本事業への参加後、AI関連業務に従事した人の割合（％）	10	—	—	
KPI	研修修了者数（人）	90	87	96.7%	
KPI	研修開催回数（回）	20	16	80.0%	
KPI	実践訓練における解決課題数（件）	3	1	33.3%	
補足	「本事業への参加後、AI関連業務に従事した人の割合」は、R3n中に調査予定。				

③外国人材の受入・共生事業

				福岡市交付対象事業経費	
目的	外国人住民との相互理解が深まり、外国人にも暮らしやすく、活動しやすいまち、また、海外の優秀な学生が都市の魅力を感じて留学先として選び、卒業後も福岡市を拠点にグローバルに活躍できるまちの実現を目指す。			2年度	8,112 千円
				3年度	12,875 千円
実施主体	福岡市	担当	総務企画局国際部国際政策課	事業期間	R1n-R4n
実施内容	<p>【地方創生推進交付金事業（横展開タイプ）】</p> <p>1 共生の地域づくり事業 異なる文化や習慣などから生まれる摩擦を生じないようにするため、区役所と福岡よかトピア国際交流財団が連携し、小学校区単位の外国人住民との交流や、外国人との共生に関する啓発の支援を実施した。なお、本取組みを推進するため、同財団に「共生コーディネーター」を設置した。また、日本の文化・習慣（生活ルール・マナー等）を啓発するため、交流事業の場で活用するパンフレット、動画を作成した。</p> <p>2 高度外国人材獲得推進事業 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外現地で参加予定であった留学フェア等が中止となったため、福岡市内大学に在籍する留学生の福岡に留学するに至った経緯や実際の留学生活についての物語を、市の公式ホームページ上に、日本語、英語、そして留学生の母国語で公開し、海外の学生に向けて福岡留学の魅力をPRした。</p>				
		指標内容	R2n目標	R2n実績	達成率
KPI	地域の国際交流事業が実現した件数（件）	20	19	95.0%	
KPI	地域の行事への外国人参加率（%）	—	—	—	
KPI	福岡市内の大学・大学院・短期大学に在籍する留学生数（人）	3,923	3,644	92.9%	
補足	「地域の行事への外国人参加率」については、R3nにアンケート実施予定。R3n目標 40%				

④アクティブシニアの生涯現役さきがけ事業

			福岡市交付対象事業経費		
目的	健康寿命の延伸を図るとともに、保健福祉医療分野の新たなサービスを創出する仕組みを構築し、超高齢社会に対応した活力ある都市づくりを進める。		2年度	81,939 千円	
			3年度	－ 千円	
実施主体	福岡市（代表）、糸島市	担当	保健福祉局総務企画部政策推進課	事業期間	H28n-R2n
実施内容	【地方創生推進交付金事業（先駆タイプ）】				
	1 「福岡100」の推進 人生100年時代を見据えた持続可能な健康社会のモデル構築を目指し、社会的ニーズや効果が高い事業をリーディング事業として実施。				
	2 福岡ヘルス・ラボ運営 健康づくり・介護予防に関する産学官民による共働・共創の場「福岡ヘルス・ラボ」を運営。				
	3 認知症コミュニケーション・ケア技法「ユマニチュード®」の普及 認知症の家族を介護されている方や専門職、市民などを対象としたユマニチュード講座を実施。				
	4 アラカンフェスタ実行委員会 アラカン世代（60歳前後の世代）の方々が自らイベントや教室を企画・実施する「R60倶楽部」の活動支援等により、アクティブエイジングを推進。				
	5 シニア活躍応援プロジェクト 働きたい高齢者と企業の多様な雇用をマッチングする仕組みや環境をつくり、高齢者の就業を応援。				
	6 地域との協働による買い物等支援推進事業 買い物支援推進員を設置し、企業や元気高齢者等の多様な主体の参加と地域資源の掘り起こしを進め、高齢者の買い物などの支援に取り組む地域団体等と、企業等のマッチング（橋渡し）を行い、地域ごとの特性やニーズに対応した持続可能な支援の仕組みづくりを推進。				
	7 健康・社会参加インセンティブ制度検討 市民一人ひとりの健康づくりや社会参加活動の参加・実践を後押しするためのインセンティブ制度の導入について検討。				
	指標内容	R2n目標	R2n実績	達成率	
KPI	活躍シニア数（人）	1,530	1,215	79.4%	
KPI	行動変容した市民数（人）	123,000	59,020	48.0%	
KPI	新たな事業創出数（事業）	21	20	95.2%	
KPI	海外展開する事業者数（事業）	8	0	0.0%	
補足					